

奉 位

◆宮坂建設工業（帯広）が除排雪作業

26日、帯広市大正町の道
道帯広空港線と市道交差点
の「新西国三十三番観世音
菩薩交通安全地蔵尊」周辺
で行ったII写真。
同社が帯広広尾自動車道
の建設工事を担当したこと
から、2003年度から実
施している。



今冬の作業は2回目。参
加した社員15人が、約2時
間半をかけてスコップや重
機で作業を行った。棟方聡
土木部長は「きれいに除雪
作業をすることで、一般通
行車の安全意識向上にもつ
ながれば」と話していた。

宮坂建設工業が地蔵尊周辺で除排雪

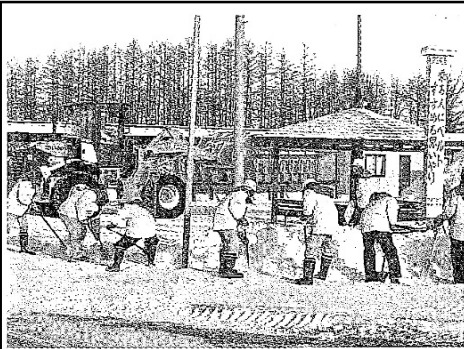
交通事故撲滅願い作業

30センチの積雪をきれいに

【帯広発】宮坂建設工業

（株）（帯広、宮坂寿文社長）

は二十六日、帯広市内の道
道帯広空港線と市道の交差
点にある「新西国三十三番
観世音菩薩交通安全地蔵
尊」周辺で、ことし一回目
の除排雪作業に取り組ん
だ。役職員ら十五人が交通
事故の撲滅を願い、熱心に



作業に当たった。

同社は、創始者の遺訓で
ある「世の為人の為につく
せ」の精神のもと、社会貢
献活動を展開。今回の取組
もその一つで、帯広・広尾
道の建設工事に携わったこ
とをきっかけに、平成十五
年から毎年行っている。

この日は、タイヤシヨベ
ル一台とダンプトラ
ック三台を動員。重
機の進入が困難な個
所は、社員が手作業
で除雪を行った。作
業前は三十センチほど
の雪が積もっていた
が、終了後は見違え
るほどきれいな状態
に当たった
役職員ら十五人が作

になった。
棟方聡土木部長は「付近
を通行する車両や、住民の
皆様方の交通事故防止につ
ながれば幸い」と話した。

今季2回目の 除排雪奉仕

宮坂建設工業

【帯広】宮坂建設工業（本社・帯広、宮坂寿文社長）は26日、帯広市大正町にある新西国三十三番観世音菩薩交通安全地蔵尊周辺で今季2回目となる除排雪の奉仕活動をした。写真。



とから帯広空港に近い道道帯広空港線の交差点付近にある地蔵尊周辺は、除雪作業で雪山ができて見通しが悪くなる。このため同社では2004年から毎年降雪後に除排雪作業に出向いている。棟方聡土木部長をはじめ14人が参加。タイヤシヨベル1台とダンプ3台を使って雪を処理した。棟方部長は「交差点ではスリップ事故が起きやすい。少しでも交通事故のリスクを減らせれば」と話していた。

交通安全地蔵の除雪 事故防止につながって



帯広市の宮坂建設工業が、同市大正町の道道沿いにある交通安全地蔵尊の周辺で除排雪ボランティアを行うようになり15年目。今季も昨年12月と1月末に実施した。土木部長の棟方聡さん(53)は「せっかくの立派な地蔵。雪山をどけて道路から見えるようにしてあげること、事故防止につながってほしい」と願う。

現地は交通安全を祈る33体の地蔵が並ぶ約500平方メートルのスペース。「普段から気にしていて、雪が何回か降ると、そろそろやるかとなる」。約15人が早朝からスコップで雪を集め、ダンプで運ぶ。



棟方さんもこの数年、毎回参加する。3時間ほどかかる作業だが、「若手もみんな嫌がらず集まってくれます」と笑顔を見せる。
(東野純也)